



港区立高松中学校 学校だより<第1号>

令和5年4月14日 校長 中山 幸子

創立1949年（昭和24年）

〈高松中生のあたりまえ〉推進校

港区高輪1-16-25

『挑戦』 『責任』 『尊重』

校長 中山 幸子

高松の森も桜から新緑に変わり、教室の窓から見える木々の鮮やかな葉がまぶしい季節となりました。令和5年度は新入生97名、2学年100名、3学年87の計284名でスタートしました。

生徒の皆さん、入学、進級おめでとうございます。

高松中学校に着任しました校長の中山 幸子(なかやま さちこ)と申します。

タイトルを見ると、入学式を思い出される方も多いかと思います。高松での3年間で有意義に楽しく、時にはたくさん考え、悩み、進むべき方向を見つけたらどうやって進んでいくか試行錯誤しながら成長して欲しいと願っています。

本校の教育目標は「**個を生かし、豊かな人間性と社会性を育む教育を推進する。**」です。

生徒たちが多様化した不確実な未来を柔軟に生き抜くには、これまでの前例踏襲を基にした教育活動には限界があります。特に新型コロナウイルス感染症で教育界は大きな転換期を迎えました。この3年間で、以前と同様にできないからと諦めるのではなく、今、何ができるのかという視点から新たに生まれる活動や工夫を得ました。これはゼロか百かではなく、例えば7割を目指し残りの3割は課題として対策を考えるという、“置かれた状況からよりよいものを見付け次につなげるプロセス”の重要性を実感しました。現状に悲観するのではなく、新たな視点をもって挑み、逃げずに正対し、仲間と協働したからこそ乗り越えられた経験が裏付けてくれました。

本校の教育目標達成にも、『挑戦』『責任』『尊重』がキーワードとなると考えています。これは教育に携わる大人にも求められていると思います。

生徒一人ひとりが夢や希望をもち、前向きな将来展望を抱き自己実現に向かえるよう、教職員が一丸となって支えてまいります。

また、新型コロナウイルス感染症が5月に感染症法上の位置付けを5類に変更されれば制限も緩和され、withコロナの新たな局面を迎えます。保護者・地域等とのさらなる連携が必要不可欠です。

皆様とともにチーム高松として令和5年を乗り越えてまいりますので、ご理解、ご協力をどうぞ、よろしくお願いいたします。